



# 子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

〒146-0094 東京都大田区東矢口2-6-14 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081

<https://www.kodomonono-mori.net> mailtp:info@kodomonono-mori.net

J P 子どもの森づくり運動  
参加園月例会報  
(2024年11月号)

「J P 子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



今年も残り少なくなってきました。

今月号では今年の最終講座をご案内します。

よろしければ、1年の締めとしてご参加ください。

写真は、事務局で植えられた東北のどんぐりです。

手前が今年ポットに植えられたどんぐり、奥が来年、東北に届けられるどんぐりです。

(目次)

1. 「園庭緑化運動2024」エクスカッション講座のご案内
2. J P 子どもの森づくり運動「全国集会 & 研修会2025」のご案内
3. 「東北復興グリーンウェイブ2024」東北のどんぐりを拾う活動レポート
4. 「どんぐりSDGs 劇団」岩手県「はなほこども園」活動レポート
5. リレーエッセイ (2024年11月号)

日本郵政グループからのお知らせ

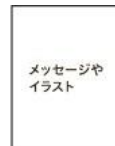
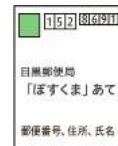
日本郵政グループは「J P 子どもの森づくり運動」の支援のほか、子ども達に向けた様々な取り組みを行っています。

【特別協賛】

JP 日本郵政グループ



お手紙をくれたみんなに  
ぼすくまからお返事が届くよ!



ぼすくまの動画はこちら



YouTube  
ぼすくま【日本郵便】  
[https://www.youtube.com/channel/UCeio0TZWe2WgapX\\_NqUUZ9A](https://www.youtube.com/channel/UCeio0TZWe2WgapX_NqUUZ9A)

ぼすくまと仲間たち  
© JAPAN POST Co., Ltd.

ぼすくまと仲間たちは郵便局のキャラクターです。ぼすくまは、くまのぬいぐるみの郵便屋さんです。仲間たちもみんな手紙が大好きです。

あて先はこちら

〒152-8691  
目黒郵便局「ぼすくま」あて

※ぼすくまへのあて先を記入の際、保護者の方のサポートをお願いします。返信ご希望の場合は、手紙に住所（建物名・部屋番号まで）・氏名を忘れず記載ください。

## 1. 「園庭緑化運動2024」エクスカーション企画のご案内

JP子どもの森づくり運動「園庭緑化運動」エクスカーション企画として、オンライン8月講座にご出講いただきました「東京ゆりかご幼稚園」内野園長先生の園を訪問します。ご存知のとおり、同園での園庭緑化や自然保育については、様々なメディアでも取り上げられており、豊かな園庭環境の中で素晴らしい活動を実践されておられます。

今回は、同園で実践されている今の活動に学ぶと共に、どのような活動の積み上げが今の園庭環境を作り上げたのか、これまでの活動や理念についても学びたいと思います。募集人数が限られています。早めにお申込みください。

### <開催概要>

1. 日 時：2024年12月10日(火) 10:00~12:00
2. 視察園：「東京ゆりかご幼稚園」東京都八王子市七国3-50-2  
⇒ <https://www.tokyo-yurikago.ed.jp/>
3. 主催/共催：子森ネット/国際校庭園庭連合日本支部
4. 集 合：「東京ゆりかご幼稚園」入口 10:00集合
5. アクセス：JR横浜線「八王子みなみ野駅」からタクシーで6分、  
京王バスで10分（京王バスみなみ野循環バス「み04」系統にて「宇津貫緑地入口」下車、徒歩5分）  
⇒ <https://www.tokyo-yurikago.ed.jp/facility/#access>
6. 募集人数：先着10名 ※定員になり次第締め切ります。
7. 参加費：無料（雨天開催）
8. 申し込み方法  
①お名前 ②ご住所（都道府県名まで）③所属 ④携帯番号  
記入して子森ネットまでメールでお申し込みください。  
※申込先アドレス：[info@kodomonono-mori.net](mailto:info@kodomonono-mori.net)



内野園長先生



バス亭からのアクセスMAP

## 2. JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2025」のご案内

全国のJP子どもの森づくり運動の会員が集い、2日間に渡ってより良き保育・幼児教育について協議する恒例の「全国集会&研修会2025」のご案内です。1日目の「全国集会」のテーマは、『園庭と遊びを考える』としました。今回の全国集会では、～緑豊かな園庭づくりを推進する～「むぎの穂保育園」出原園長先生と、～自由に主体的な遊びを推進する～「日本冒険遊び場づくり協会」関戸代表のお二人を講師に迎え、望ましい園庭環境と遊びのあり方について学び、参加者と共に考える機会としたいと思います。

2日目の「保育防災研修会」の午前中は、岩手県大槌町で開催された「第1回保育防災サミット」のレガシーを引き継いで、「第2回保育防災サミット」としました。「保育防災サミット」の基調講演には、能登半島地震で被災されながら地域の拠点として活動された石川県穴水町「平和こども園」の日吉園長先生をお迎えし、自然災害時の保育防災のリアリティーについてお話しいたします。

- 1) 開催日：2025年2月24日(月・祝)、25日(火)
  - 2) 会 場：「福井市地域交流プラザ（通称：AOSSA）」研修室B・C  
福井市手寄1-4-1 AOSSA5階（福井駅より徒歩1分）
- ※詳細・お申込みは、同封のチラシ、及びホームページをご参照願います。



出原先生



### 3. 「東北復興グリーンウェイブ2024」東北のどんぐりを拾う活動レポート

「東北復興グリーンウェイブ」の取組みとして、東北のどんぐりを拾う活動を行いました。今年は、暑かったこともあり、どんぐりの生育は不調でした。集まった園児たちは、「岩手県立陸中海岸青少年の家」のスタッフの指導で「アニマルハンティング」というアクティビティを行い、野外フィールドを走り回っていました。「森に隠れた動物たちの絵を探すのが面白い」と、目を輝かせながら楽しんでいました。

- ・日時：2024年10月24日（木）10時～12時 ・場所：「岩手県立陸中海岸青少年の家」
- ・参加者：あかまえこども園、つつみこども園、かまいしこども園保育者、園児（約48名）



### 4. 「どんぐりSDG s 劇団」岩手県「はなほこども園」活動レポート

10月生まれの園児たちのお誕生日会のセレモニーに併せて「どんぐりの森のどんちゃんどぐりちゃん」を上演。子どもたちは、登場する動物達に大喜びしていました。自園で育てたどんぐりの木は実を付けるほど生長し、今年実ったどんぐりをどんぐりーずにプレゼントしてくれました。先生から「子どもたちにとって、このような生のお芝居はとても必要なこと」と、賞賛のコメントをいただきました。子どもたちが育てたりんご、梨は、とても甘く、美味しくいただきました。

- ・日時：2024年10月22日（火）11時～12時 ・場所：「はなほこども園」（岩手県一関市）
- ・参加者：保育者、園児（約60名）



## 5. リレーエッセイ (2024年11月号)

リレーエッセイ11月号は、「ウレシパモシリ」主宰 高橋 京子さんの2回目のご寄稿です。今回は、見て、触れて、感じて、試す、五感をフルに動かした子どもたちの草花との遊び方についてです。

### 草花となかよし

ウレシパモシリ 保育と自然をつなぐ研究会 – 主宰 高橋 京子



お散歩にいく道端、公園や園庭の隅っこに咲く野の草花。当たり前前の風景としてただ通り過ぎないで、足を止めてそっと覗いてみると、都会であっても、たくさんの草花に出会えます。見て楽しむだけでなく、たくさん咲き終わる頃、少し摘んで手に触れてみましょう。見ているだけでは気付かなかった草花の姿形、感触や匂いの違いにも気付きます。

子どもたちと遊ぶ際には、五感をフルに動かして探します。色をテーマに探すと、同じ緑でも葉っぱは1枚いちまい皆違うことに気付きます。「ふわふわ」なモノ探しでは、実際に手で触って「ふわふわ」をワクワクしながら探し回ります。子どもたちの見る力が見極める力に育っていきます。

そんな身近な草花と遊びこんだ園は、園庭に草花遊びのための花壇を、子どもたちと一緒に作りました。種を蒔き苗を植えて、水やりをしながら育てます。たくさん花が咲いたら、咲き終わる頃の花を選んで、おままごとや色水あそび、花びらアート等、それぞれ好きな遊びに取り入れて、自分らしく表現します。花びらアートでは、一輪の花びらを1枚1枚外側から剥がして並べていくと、最後に、どの花も同じモノが出てくることに気付きます。花の命の仕組みに出会います。(写真)



花びらを摘み際には、「こっちの枯れ始めた花から摘んでね」と教えてくれる子や、「わたしはかわいそうだから摘まないの!」とつぶやく声も。草花と直接触れ合ってきたからこそ、草花を大切にしたい気持ちが育っていました。

ある子は、摘んできた葉っぱで「1本の木」を描きました。(写真) その子にそっと「これは何の木なの?」と尋ねてみると、「ドングリの木! 園庭のブランコの隣にいる木だよ。」



「ドングリは付けないの?」と聞くと、「まだ春だからドングリは出来ないの!」との呟き。

こんな小さなやりとりの中に、私は、自然遊びを日々の保育につなげてきた豊かさを、見えない子どもの心の内側にしっかりと育っていることを感じて、とても嬉しく思いました。草花と出会い、見て触れて感じて試して愛着を持ちながら、草花と仲良しになっていきます。(※園事例 東京都練馬区「妙福寺保育園」\*写真提供:「妙福寺保育園」花びらアート、木の絵)

#### ※執筆者紹介

#### ウレシパモシリ 保育と自然をつなぐ研究会 – 主宰 高橋京子 (写真)

豊かな子どもの育ちを応援したい思いを込めて、主に関東圏の保育現場に伺い、その園環境を見直し、身近な自然を保育教育資源として捉えなおす提案や、乳幼児からの五感を通した身近な自然あそび実践や、保育と自然をつなぐ講演・保育指導者研修も進めています。主な著書に「決定版 12か月の自然あそび 87」(新星出版社) NHK Eテレ「まいにちすくすく」番組の「あそびのたね」シリーズで自然遊び監修。



※参加者募集: ウレシパモシリ主催 保育者向け自然遊び研修会 ⇒<http://ureshipa.jp>